

キャリアコンサルティング技能検定1級学科・論述 面接試験 合格体験記

2021年 4月 24日

1級受検番号 NO 05F3620198

氏名 M.K (大阪府 在住)

■1級技能士を目指したきっかけ
2016年にキャリアコンサルタントが国家資格化することになり、指導者レベルになるために2015年から1級受験を始めました。
■当初の勉強法
学科対策だけで、実技対策は特に何もしていませんでした。
■合格のきっかけ
1回目は学科も実技も不合格、2回目は学科は合格、しかし3回目でも実技が不合格でした。その時ようやく自分は何も分かっていないということを自覚しました。それで、1から勉強し直そうと思い、2級と1級に求められる能力の違いや、指導者レベルのキャリアコンサルタントに求められる面談スキル等の理論を学習し、理論的理解の元に実技練習を何度も繰り返したことが良かったと思います。
■学科試験対策
その頃は1級学科の過去問本が出ていなかったもので、国家資格キャリアコンサルタント試験、2級キャリアコンサルティング技能士試験の過去問本を、全問正解するまで何度も解いていきました。また、キャリア理論に関する本もたくさん読み、各理論を単体として理解するのではなく、理論が発展した流れに沿って理解するようにしました。
■論述試験対策
私にとっての課題は解答用紙の書き方でした。いつも時間内に行内に要点をまとめることができませんでした。そこで、過去の論述問題を、時間を計って試験当日の態勢で何度も練習しました。
■面接試験対策
当会の1級実技(面接)試験ロープレ三昧と、1級実技(面接)試験対策直前講座総仕上げ2日間コースに参加したことが合格につながったと思います。私の課題は時間内に事例相談者役が納得できるようなコンサルティングプロセスをすることができないことでした。それまでは友人たちに事例相談者役になってもらい練習していましたが、一日に1~2回しか練習できず、課題を修正することができませんでした。それが、ロープレ三昧と総仕上げ2日間では、1日に何度も事例指導者役ができるので、自分の課題点の修正を同じ日にすぐ試みることができ、講座終了時には時間内にうまく進めるコツを得ることができていました。それで面接試験でも事例相談者の話を落ち着いて聴くことができ、時間内に関係構築、問題把握、目標設定、方策を出すことができたのだと思います。
■受検される方へメッセージ
1級は傾聴力、問題把握力が最も試される試験と思います。当会の講座に参加した時も、ペア練習をして、傾聴ができていないと感じる受講者が多くおられました。その要因として、「傾聴」を理論的に理解されていないことがあると思われました。私も1から学び直すことで合格できました。初心に戻って、「傾聴」と「キャリアコンサルティング・プロセス」を理論的に理解した上で、何度も面接練習をすることをお勧めします。